



『季節の宅配便』



ミツバチの生態

近畿大学附属農場では、マンゴー、ミカン、イネ、ウメなど、研究栽培しています。マンゴーやウメなどの受粉を助けてくれている「ミツバチ」の生態について、調べてみました。

ミツバチは、「社会性昆虫」と呼ばれ、女王蜂、働き蜂、雄蜂の3種類で構成されています。巣の中で役割分担を行い、蜜や花粉を集め、幼虫を育てて巣を維持します。ミツバチは短い一生の間、私たちの食生活や自然界を支えるために大きな貢献をしています。様々な意味で我々の生活に欠かせない存在であることを、ぜひ知っていただけたらと思います。



女王蜂になれる条件

幼虫の時に「ロイヤルゼリー」を食べ続けることです。実は働き蜂と同じ卵から生まれますが、栄養豊富なロイヤルゼリーだけを与えられ続けた幼虫だけが、特別な存在である女王蜂へと成長します。

蜂の役割

- | | |
|-----|-----------------------------|
| 女王蜂 | ▪ 巣に1匹だけおり、毎日約1000個の卵を産みます。 |
| 働き蜂 | ▪ 全てメスで寿命は約1ヶ月。 |
| 内勤期 | ▪ 巣の掃除、育児、巣作り。 |
| 外勤期 | ▪ 花の蜜や、花粉を集めます。 |
| 雄蜂 | ▪ 女王蜂との交尾です。 |